

## 候補者の概要書 (事業所・地方公共団体等用)

### 1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名* <sup>1</sup> (事業所・地方公共団体等の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	カカナ (半角カナ) :  														
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)															
③代表者役職・氏名	印														
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">住所</td> <td style="padding: 2px;">(〒 - )</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">所属企業・機関名</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部署・役職</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">氏名</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">電話番号</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">FAX番号</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">Eメール</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table>	住所	(〒 - )	所属企業・機関名		部署・役職		氏名		電話番号		FAX番号		Eメール	
住所	(〒 - )														
所属企業・機関名															
部署・役職															
氏名															
電話番号															
FAX番号															
Eメール															

連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印してください。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加してください。

①候補者名* <sup>1</sup> (事業所・地方公共団体等の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	カカナ (半角カナ) :  														
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)															
③代表者役職・氏名	印														
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">住所</td> <td style="padding: 2px;">(〒 - )</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">所属企業・機関名</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部署・役職</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">氏名</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">電話番号</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">FAX番号</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">Eメール</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table>	住所	(〒 - )	所属企業・機関名		部署・役職		氏名		電話番号		FAX番号		Eメール	
住所	(〒 - )														
所属企業・機関名															
部署・役職															
氏名															
電話番号															
FAX番号															
Eメール															

## 2. 3R 活動の実施内容

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

① 活動テーマ名
推薦対象の 3R 活動の内容を端的に表すテーマ名を 40 字以内で付けてください。
② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）
活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS 明朝、9 ポイント）。 ※ 枠を上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。
次のような項目について内容を記述ください。
（1）どのような 3R 活動か
（2）取組のポイント、特長
（3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ
（4）今後の予定
など
注釈
1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。
2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。
3. 過去の内閣総理大臣賞受賞者の活動概要（表彰結果発表冊子）を 29 ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。 <a href="http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki">http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki</a>

※枠はこのまま使用して、上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目③～⑫ご記入ください（6 ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜広げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

3R 活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- （1）どのような 3R 活動であるかの詳細
- （2）取組のポイント、特長の詳細
- （3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- （4）今後の予定の詳細

など

④ 3R 活動の区分

実施している活動の区分について、該当するものに○を付けてください（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、26 ページの「表彰の募集対象となる 3R の取組の例」を参考にしてください。

リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等

⑤ 活動開始時期・継続年数

3R 活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑥ 対象品目・量等の実績

3R 活動の対象品目、および過去 3 年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入してください。

<リデュース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リユース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リサイクル>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>	t m <sup>3</sup>
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

⑦活動による効果
<p>3R 活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。</p> <p>「⑥対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑥対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
⑧活動地域の範囲、他の 3R 活動主体や他地域との連携協力、地域密着性
<p>3R 活動の実施地域の範囲を記入してください。</p> <p>他の 3R 活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。</p> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた 3R 活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。</p>
⑨独創性・先鞭性
<p>他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。</p>

⑩啓発普及・教育活動の実施、波及効果	
3R に関する啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。	
他の事業所等の 3R 活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。	
⑪その他活動の工夫点	
上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。	
⑫他の企業等の協力	
他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て 3R 活動を行っている場合、以下を記入してください。	
(a) 協力を得ている内容を記入してください。	
協力企業の業種	協力を得ている事項
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている。
(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握及び協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入してください。	
(記入例) ・年 1 回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認 ・廃液のリサイクルを委託するにあたって、共同で再生技術の研究開発を行った。	

### 3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び 応募状況 (上記(A) ～(D)を 記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、 記入)	受賞年度 (上記(A)～ (C)の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、 記入)	受賞時の会社名・事業所名 が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

**記入例は削除して、ご記入ください。**

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R 活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	(記入例) 工場が発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5（発生量の20%）に削減した。	(記入例) 左記の取組に加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留り改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。 これにより、最終処分量ゼロを達成した。
3R 対象品目 及び実施方法 について	(記入例) ・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生 ・プラスチック端材：熔融ペレット化して売却 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル	(記入例) ・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切替え全廃 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用 ・段ボール箱：通い箱に切替え発生量を95%削減 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用
活動の実施地域 について	(記入例) 当社〇〇工場、××工場の2事業所で実施	(記入例) 左記に加え、当社□□工場、△△工場及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な 向上について		(記入例) 前回受賞時の取組内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般にわたる取組を組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展 事項、アピール したいポイント	(記入例) 製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	